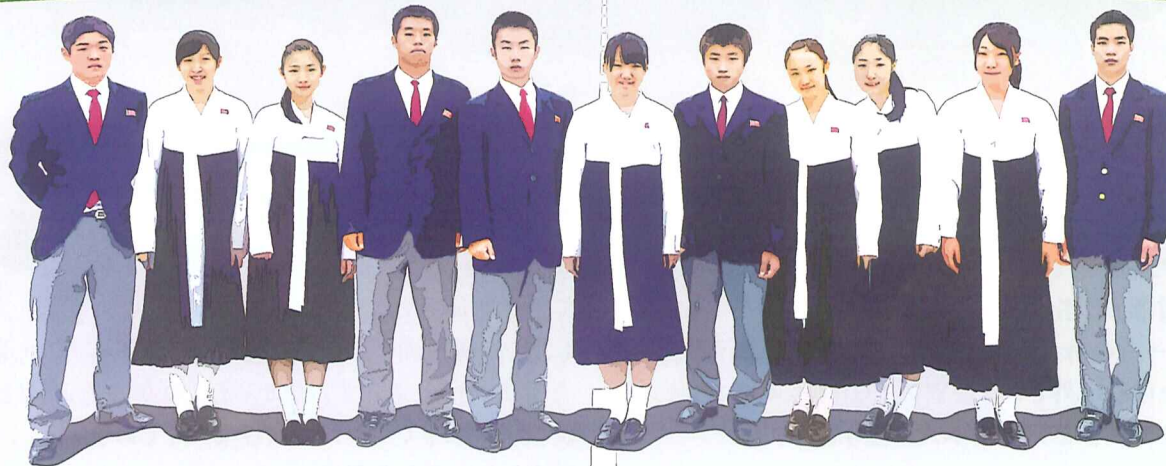


異国の空と祖国の空—、その瞳たちに映る蒼い希望。



D.P.R.K ← → JAPAN

そらいろ

長編ドキュメンタリー映画

# 蒼のシンフォニー

SORAIRO NO SYMPHONY

— 日本で生まれ育った朝鮮学校生徒たちの物語 —

監督 | 朴英二

出演 | 茨城朝鮮初中高級学校 第58期生

「蒼 (そらいろ) のシンフォニー」上映会

2018. 9. 22 (±) 13:30 (13:00 開場) 上映時間 95 分

山口市市民会館 小ホール (山口市中央2丁目5番1号)

当日券 999 円 / 前売券 900 円 (高校生または18歳以下無料)

主催『蒼のシンフォニー』山口上映実行委員会 ☎090-3630-5749 (肝付)  
協賛 西京シネクラブ / 後援 山口市教育委員会

製作 | 蒼のシンフォニー製作委員会 ©NEWSTYLE.CO.,LTD soraironosymphony.com

# 日本・韓国・朝鮮、三つの国境をまたいで 撮影されたドキュメンタリー映画。

訪朝14回、訪韓10回。南北を自由に往来する  
在日監督によるドキュメンタリー。

朝鮮学校生徒たちのありのままの姿と、朝鮮の人々の素顔を、  
朴英二の“眼”だからこそ撮りえる映像で描き出す。



## 日本には数多くの朝鮮学校が存在する

日本で生まれ育った在日コリアンの子どもたちが、民族の言葉や歴史、文化などを学んでいる。生徒たちは高校3年生になると、“祖国”である朝鮮民主主義人民共和国を訪問する。日本のメディアでは目にすることの出来ない「北朝鮮」の姿を、自身の心と体で感じ取る。



## 祖国は未だ分断されたまま

軍事境界線で、70年にもわたる南北分断の悲劇を目の当たりにする生徒たち。あちら側では外国人観光客がもの珍しそうに、こちら側にカメラを向けている。“北”から“南”を眺める「朝鮮」籍の彼女は、“故郷”である韓国の地に足を踏み入れることは許されない。



## 在日朝鮮人として生きる選択

街を歩く生徒たちを見て、朝鮮人だと気付く人は誰もいない。見た目も話す言葉も日本人と全く変わらない。朝鮮人であるためにヘイトスピーチの脅威にさらされ、朝鮮学校に通うことで、高校無償化からの除外という差別にさらされている。人々の「善意」が口々に言う。「どうして日本人にならないの?」

## 生徒たちが奏でる交響

国や社会から存在を否定され続けてきた生徒たち。そんな逆境の中でも、堂々と前を向き、しっかりと夢を語る。明るく笑い、歌う。“蒼”は青春の、けれども、くすみがかかったこの空の色。だけど一人一人が、きっと大きく一つにつなげていくであろう、輝く蒼天の色。響きわたる、愛と希望のシンフォニー。



茨城朝鮮初中高級学校  
1953年4月15日創立。初・中・高級部(小中高に相当)が併設されている。高級部の学区は東北6県、新潟、栃木、群馬、茨城で、10県・6校(東北6県には宮城と福島に2校)の日本最大学区(本州の45%)であり、高級部生の大半は寄宿舎で生活し学校に通う。2014年度生徒数70名。

監督: 朴英二 出演: 茨城朝鮮初中高級学校 第58期生 プロデューサー: 尹志守 制作: 朴明順、許相浩、李英哲、李鍾周  
主題歌: 「そらいろ」金鐘仙 音楽: 高明秀、全寿福、李龍午、ウリナラ 撮影: 朴英二、金成光、尹志守  
2016年/日本/95min 製作: 蒼のシンフォニー製作委員会、NEWSTYLE [soraironosymphony.com](http://soraironosymphony.com)

そらいろ  
蒼のシンフォニー  
SORAIRU NO SYMPHONY

- 上映後、感想交流会があります (参加自由。16時頃まで)
- チケット取り扱い場所 【山口】 山口情報芸術センター (YCAM) 山口市民会館 C.S.赤れんが (下記で電話予約もできます) 【宇部】 井筒屋 ラジグラ 【防府】 アスピラート
- お問い合わせ 『蒼のシンフォニー』山口上映実行委員会 ☎ 090-3630-5749 (肝付) 西京シネクラブ ☎ 083-928-2688